



地下鉄短信 (第314号) 平成29年10月11日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 ○第24回鉄道フェスティバルに出展しました

○第24回鉄道フェスティバルに出展しました



10月14日の「鉄道の日」は、明治5年に新橋・横浜間に初めて鉄道が開通したことを記念して、平成6年に制定されたもので、今年で24回目となります。その関連行事として、10月7日・8日の両日、東京都千代田区の日比谷公園で第24回「鉄道フェスティバル」が開催されました。

一般社団法人日本地下鉄協会は、「鉄道の日」実行委員会の委員として、この「鉄道フェスティバル」の開催に参画しており、例年のように地下鉄協会のブースを設けて出展しました。

◆秋晴れに恵まれたフェスティバル

初日の7日(土)は、午前10時の開会式直前まで小雨がぱらつきましたが、昼過ぎから天候が回復し、午後から鉄道マニアのみならず家族連れで溢れました。入場者数も65,000人と昨年と比べ出足が好調でした。2日目の8日(日)は、朝から秋晴れの晴天に恵まれ、例年にない賑わいとなりました。この結果、2日目の入場者数は83,000人となり、合計で148,000人となりました。



◆会員事業者の紹介パネル



協会のブースでは、会員各社の事業を紹介するパネルをテントの壁一面に掲出しました。各社とも最新の路線図や自慢の車両の写真などをビジュアルに配置したパネルを作成し、電車好きの子どもファンや、かつて利用していた鉄道の思い出を語り合うグループなど、熱心な鉄道ファンが次々と訪れ、パネルに見入っておりました。

また、今年は協会スタッフがお揃いのウインドブレーカーを着用して入場者の方々に対応しました。

◆売れ行き好調だった「交通局」の地下鉄グッズ

今年は、「名古屋市交通局」「京都市交通局」「福岡市交通局」が地下鉄協会のブースを利用して、物品販売を行いました。

その中で、福岡市交通局では、100万枚発売記念の「ICカード・はやかけん」を求めるファンで長蛇の列が出来、準備した1000枚が僅か2時間で完売するなど予想を上回る売り上げとなりました。また、名産の博多織のネクタイが好評でした。

京都市交通局では、大きな駅名標やメーター類などの地下鉄部品が初日の午前中に売り切れ、「地下鉄に乗る！」キャンペーン乗車カードなども好評でした。

名古屋市交通局では、「開業60周年記念」の職員手帳そっくりのメモ帖を特別販売するなど地下鉄グッズが好評でした。

初日朝の悪天候の中でも、開店前からお目当てのグッズを探すファンが列を作って待つほどで、各交通局の前が黒山の人だかりとなり、会場入り口に近い当協会のブースはフェスティバルに相応しい盛況を博していました。



◆好評だったスタンプラリーと協会グッズ



今年は、東京都交通局のご提案により、3か所を巡るスタンプラリーが実施され、当協会もスタンプ設置場所になり、ラリー参加の子供たちの行列ができる賑わいとなりました。また、ラリー参加者には協会から「エスカレーター手すりにつかまろう」キャンペーン等のティッシュを差し上げて喜ばれました。

協会では、来年が「明治150年」の節目の年であることから、会員31社局の車両前面写真をプリントしたクリアファイルと、地下鉄を利用する際のマナーをイラ

ストなどで楽しく学ぶことが出来るリーフレット「マナーは 気くぱり 思いやり」にそれぞれ「記念ロゴ」を挿入し、ブースを訪れた皆様に(各5000部)お配りしました。

フェスティバルで恒例となったこのクリアファイルを楽しみにしている鉄道ファンもたくさんおり、過去のクリアファイルを全て集めているという方や、今年新しくなった車両写真を全て当てた方など、職員も驚く熱心なファンにたくさん会うことが出来ました。

この第24回鉄道フェスティバルにつきましては、会員各社から絶大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



♣平成 29 年度「マナーポスター」 (車両中吊り用・B3 版)

((一社)日本地下鉄協会)



♣平成 29 年度「マナーポスター」 (駅舎掲載用・B1,B2 版)

((一社)日本地下鉄協会)



(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp